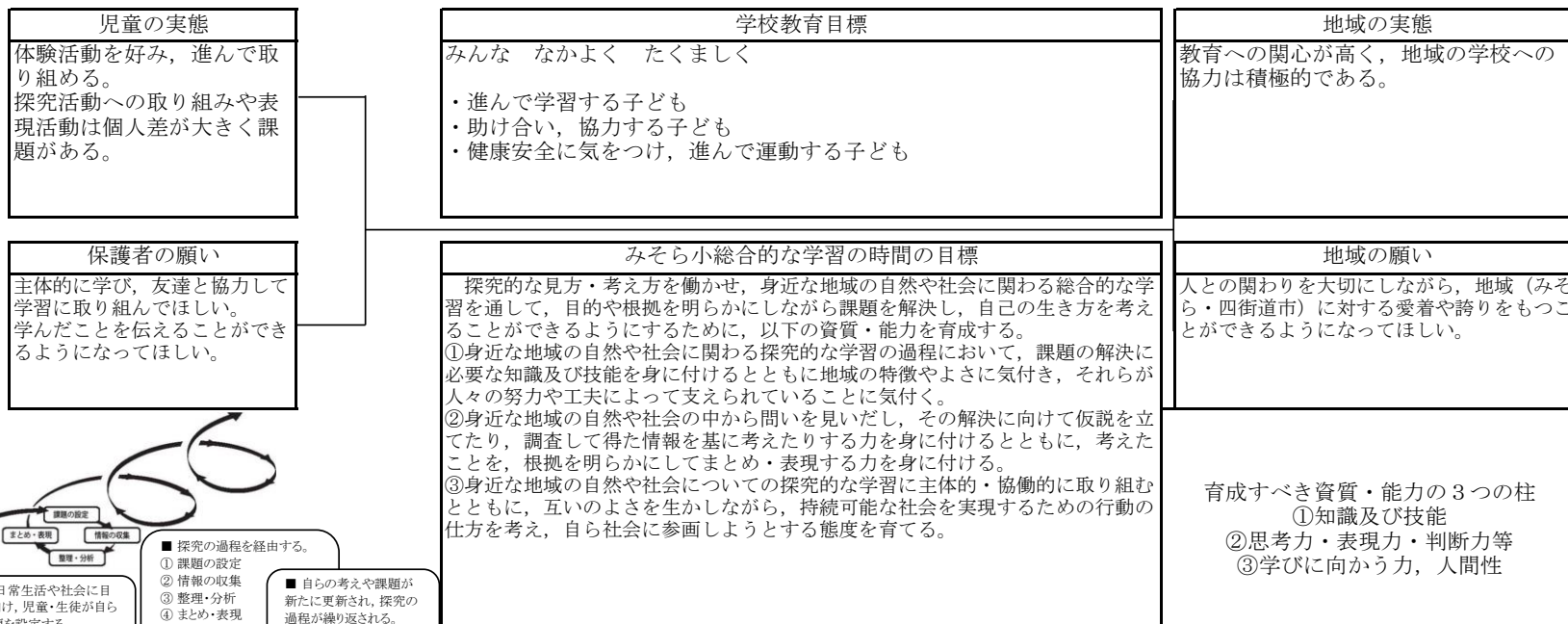


みそら小学校 総合的な学習の時間 全体計画



〈本校の総合的な学習の時間の目標〉

学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		①知識及び技能	②思考力・判断力・表現力等	③学びに向かう力・人間性等
3年	・考えようわたしたちができること（福祉）	○高齢者等の想いや願い、暮らしを支援する仕組みを理解することができる。（A知識） ○声の大きさや身振りを加えて、分かりやすい話し方で高齢者に適切に関わることができる。（B技能） ○高齢者との暮らしについて考える中で、各教科等と関連付けて探究することが有効であることを実感できる。（C探究的な学習のよさの理解）	○体験活動や学習活動を活かして、課題設定を行うことができる。（A課題の設定） ○適切な情報収集の方法を考え、協力しながら収集することができる。（B情報の収集） ○話し合いの場面で、自己の考えを述べるができる。（C整理・分析） ○書く場面で、調べたことや自己の考えをわかりやすく表すことができる。（Dまとめ・表現）	○自らの意見や他者の意見を肯定し、自信をもって活動に取り組むことができる。（A自己理解・他者理解） ○友だちや学習協力者と積極的に関わり、問題を協同的に解決しようとするすることができる。（B主体性・協働性） ○活動を通して、自己や地域の未来について考えることができる。（C将来展望・社会参画）
4年	・きてみてみそら～ふるさとへの想い～（地域）	○みそらのことを他地域があまり知らないという問題を解決するための知識を獲得し、みそらのよさについて考えることができる。（A知識） ○QRコードでアンケートの作成やインタビューを相手や場面に応じた適切さで実施できる。（B技能） ○みそらのよさを広めるためには、各教科等と関連付けて探究することが有効であることを実感できる。（C探究的な学習のよさの理解）	○地域探検や市役所の方からの講話などの体験活動を活かして、課題設定を行うことができる。（A課題の設定） ○みそらに住む様々な年代の方から情報収集を行う方法を考え、協力しながら収集することができる。（B情報の収集） ○話し合いの場面で、思考ツールを用いて、意見を比較・分類しながら自己の考えを述べることができる。（C整理・分析） ○タブレットで動画を作成したり、毎時間の終わりに振り返りを行い、作文用紙を用いて自己の考えをわかりやすく表すことができる。（Dまとめ・表現）	○自らの意見や他者の意見を肯定し、自信をもってみそらを広める活動に取り組むことができる。（A自己理解・他者理解） ○友だちや学習協力者と積極的に関わり、問題を協同的に解決しようとするすることができる。（B主体性・協働性） ○みそらのよさを広める活動を通して、自己や地域の未来について考えることができる。（C将来展望・社会参画）
5年	・防災について考えよう（地域・社会）	○近年発生回数が増えている自然災害問題に関わる知識を自らが進んで獲得し、概念的な知識について見出すことができる。（A知識） ○タブレット端末を用いて情報を整理する。（B技能） ○有事の際、どのような活動をすればよいか柔軟に考え、各教科等と関連付けて探究することができる。（C探究的な学習のよさの理解）	○自分達の考えを活かして課題設定を行うことができる。（A課題の設定） ○適切な情報収集の方法を考え、様々な方法で集めることができる。（B情報の収集） ○客観的な事実から思考ツールを用いて自分達で分析結果を見出すことができる。（C整理・分析） ○タブレット端末を活用し、構成を工夫しながら調べたことや自己の考えをわかりやすく表すことができる。（Dまとめ・表現）	○自己や他者を肯定し、自信をもって活動に取り組むことができる。（A自己理解・他者理解） ○友だちとともに問題を考え、互いの意見を聴き合い、問題を協同的に解決しようとするすることができる。（B主体性・協働性） ○活動を通して、自己や地域の未来を自分達の手で切り拓こうと考えることができる。（C将来展望・社会参画）
6年	・キャリアドリーム（キャリア）	○様々な職業に関する知識を自らが進んで獲得し、働く意義について見出すことができる。（A知識） ○情報の質や量、今後の見通しを踏まえ、適切な方法を用いて情報を整理する。（B技能） ○課題解決のために、どのような活動を取り入れていけばよいか柔軟に考え、各教科等と関連付けて探究することができる。（C探究的な学習のよさの理解）	○職業体験をしたり、職業について調べたりしたことを活かして課題設定を行うことができる。（A課題の設定） ○適切な情報収集の方法を考え、様々な方法で集めることができる。（B情報の収集） ○客観的な事実から思考ツールを用いて自分達で分析結果を見出すことができる。（C整理・分析） ○毎時間の振り返りシートや新聞の構成を工夫しながら調べたことや自己の考えをわかりやすく表すことができる。（Dまとめ・表現）	○自己や他者を肯定し、自信をもって働くことについて考える活動に取り組むことができる。（A自己理解・他者理解） ○友だちとともに、問題を考え、互いの意見を聴き合い、自分達にどのような学習協力者が必要かを考え、その方と積極的に関わり、問題を協同的に解決しようとするすることができる。（B主体性・協働性） ○働くことについて考える活動を通して、自己や地域の未来を自分達の手で切り拓こうと考えることができる。（C将来展望・社会参画）

学習活動
・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域人材や市役所など多様な人々や機関と協働して解決する必要のある探究課題を設定する。 ・地域のひと・もの・ことを生かした学習活動を行う。

指導方法
・体験活動を重視する。 ・体験活動に基づき、教師の考えや児童の思いを生かした学習活動を進める。 ・思考ツールを活用し、児童の思考を整理し、適切な論点を与える。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。

指導体制
・全校指導体制を構築する。 ・地域の人材を共有し（地域人材リスト作成）活用する。 ・研修等で校内の情報交換を行う。 ・年度末における総合学習発表の場を設ける。

学習の評価
・指導と評価の一体化のための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・言語活動の充実を図り、制作物を評価する。 ・話し合い等の発言を評価する。